

第33号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 龜 山 九 島 禪 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

大阪にオリンピックを!

九条に中華街を!

二十一世紀まであと一年!

龍祖水定二百参拾年法要

小雨も止み、盛大裡に挙行

さる六月十一日(日)午後一時半より、開山龍溪禪師水定参百卅年忌法要が、盛大に挙行されました。

当日は午前十一時より先代弘忠和尚七回忌法要も併せて執行され、大本山萬福寺より監寺・黄檗宗宗務総長 赤松達明禪師を拝請し、黄檗山塔頭萬松院・中島義晃院主をはじめ、萬松派法類・宗内寺院住職十六名が出座されました。親族を含め百二十名もの檀信徒が参詣されました。

数日前には梅雨入り宣言もされておりましたが、天候が心配されていましたが、早朝からの小雨も開式時刻にはあがり、肅々と式次第通り進行了しました。

七回忌法要は、小師(弟子の住職)が清浄衣を身につけ、誦する和尚方、導師を勤めて頂いた塔頭萬松院主をはじめ和尚方に付拜。規矩通りに執行されました。弘忠和尚津送(しんそう)葬儀(のこ)の時を思い返しつつ感激に咽びました。小雨もすっかり上がり、午後

からの本番、龍祖水定参百卅年忌にのぞみました。

来賓の方々も着席され、最初に、今回新造された龍溪禪師座像・禅宗始祖達磨大師座像と歴代和尚方の位牌(二十本新造と龍溪禪師と宗祖隠元禪師、後水尾法皇の御尊牌の修理)入魂法要が住職を導師に行われました。禅宗では普通、法要には香語といって境涯を漢詩に込めて陳べる風習があります。

祖 像 開 光

継 承 扶 桑 黄 檗 禪
 靈 龜 山 上 一 燈 傳
 薰 風 草 木 瑞 祥 裡
 祖 像 新 因 清 淨 縁

これで、小柄悲願の戦後復興が大勢の篤志の方々の尊いご浄財のお蔭でかなうことになりました。本堂に有り難いことです。次に龍祖参百卅年忌です。導師には大本山萬福寺より拝請した同寺監寺(かんす)黄檗宗宗務総長赤松達明禪師が勤められ

本堂にむかう山主



龍 祖 忌 香 語

宗 燈 三 百 五 十 年
 龍 祖 法 乳 山 野 滿
 自 在 踏 破 莫 妄 想
 長 恨 斷 滅 水 中 玄

と香語を陳べられ、引き続き小柄が、龍祖に憶いをこめて香語

龍 祖 忌 香 語

一 日 沈 香 薰 大 千
 真 前 種 首 開 法 筵
 春 秋 有 月 本 来 意
 参 卅 年 龍 祖 伝

を陳べました。最後に今回の慶讃事業に浄財をご寄付頂いた方々のご先祖回向の後、総長さんの挨拶。当院制作の慶讃ビデオ上映、総代梶山清三氏より会計報告謝辞、住職謝辞と式次第通り定刻に終了し散会しました。以上ご報告致します。

寺史に残る新発見!!

【当院の開山は寛文三年】

高槻市にある慶瑞寺が今春発刊された図録「祥雲山慶瑞禅寺」に、当院に関する次のような記事がありました。

慶瑞寺末寺七箇寺

寛

一 摂州西成郡九条嶋村九嶋庵

一 三拾年以前寛文三癸卯年

建立一開基龍溪和尚

一年貢地四畝式拾歩

慶瑞寺より兼帯

右之通り相違御座無く候仍

て後証の爲件の如し

元禄五年壬申月日

富田慶瑞寺住持 永 泰

右之外六ヶ寺同断証文書速く黄檗山へ著げ上る者也

これによると、九島院は慶瑞寺の末寺で、寛文三癸

卯年（一六六三）に龍溪禅師によって建立されたことが判明しました。

当院は寛永十年（一六三三）に衛壇嶋開発の香西哲雲と池山新兵衛が、新田の五穀豊穰を祈念して、僧拙道に頼んで創建したが、拙道は師の龍溪和尚を開山として建立したと大阪市史には載っていますが、その建立年が、寛文三癸卯年（一六六三）ということになる当院にとっては極めて貴重な歴史文書が発見されたといえます。

また、戦災で焼失した歴代和尚方の位牌を新造するに際して、先々代榮忠和尚が大正元年より墨書しておられた当院記録を見ても、その当時より不詳とされていた八代虎嶽和尚と十五代恵眼和尚の卒年が、元文元年十月九日、天保十三年二月二十五日と判明しました。

第七回修養会のご案内

本年も修養会を実施します。これまでは、開山龍溪禅師の御遺蹟をめぐり、先日の参百卅年忌法要で当初の目的をはたせました。今後は、禅宗を続けていきたいと考えています。本年は、兵庫県の外大舟山麓の黄檗宗の方廣寺を拝塔し、大本山萬福寺造営の作寺奉行の麻田藩（池田市）青木一重公が創設した禅寺ですが、日本書道の国際化に最大の功績をあげた書家上田桑鳩が愛した寺で、氏の作品を多数残しています。昼は反対山麓にある大舟寺で普茶料理を頂き、西国参十三箇所番外花山院を訪ねる予定です。秋の一日、日本の里山風景をのこす三田盆地でゆったりと過ごしましょう。是非、お誘いの上ご参加下さい。

募 集 要 項

- 日 時 11月19日（日） 9時集合
 - 集合場所 九島院より貸し切りバスに乗車
 - 旅 程 九島院-方廣寺-大舟寺（普茶料理）-花山院（西国参十三箇所番外寺）-九島院（4時半頃解散予定）
 - 会 費 1万円（食事・拝観料込み 当日徴収）
 - 募集人員 40名（満員になり次第締め切り）
- ※先着順です。申し込みは、当院（☎06-6583-2725）まで。出発当日の半月前に確認書をご郵送します。

脚「下」、いままで判らなかつたこと自体が不思議といえます。弊師弘忠和尚が存命であれば、どれほどお喜びになられたことか、早速真前に供え、報告しました。

大阪にオリソピックを!

九条に中華街を!

二十一世紀まであと二年!

